

人 チーム 制度



仕事も子育ても、鍵になるのは「チームワーク」
周囲との連携を常に意識しましょう！！

中央復建コンサルタンツ(株) 重吉実和さん

今回ご紹介するのは中央復建コンサルタンツ(株)の環境グループで動物・植物・生態系調査業務に携わる重吉さん。仕事をこなしながら、11歳と8歳のお子さんを育てていらっしゃいます。

これまでの経歴を簡単に教えてください。

大学院では開発科学専攻で森林に関する研究を行っていました。環境への影響を低減し、社会に役立つ仕事をしたいという思いから、建設コンサルタントに就職するという決心をしました。

現在は、環境アセスメントに関する業務を主に担当し動物・植物・生態系を対象とした調査検討を行っています。

産休・育休を経験されていますが、仕事復帰をする際に不安だったことはありますか？

当時、産休・育休を取得したのち復帰した女性の技術職の方がいなかったため、社内での前例がなく、育児と仕事を両立していけるのか心配でした。職場から離れる不安もあったのですが技術士取得後、上司との面談でよく話をしたうえで産休・育休取得であったため、職場を離れることへの不安は小さかったように思います。



プロフィール

氏名 : 重吉 実和 (43)
所属 : 中央復建コンサルタンツ(株)
環境・防災系部門 環境グループ
勤続年数 : 16年目 (休暇期間約3年)
居住地 : 大阪府
家族構成 : 夫(44) / 長男(9) 長女(12)
勤務状況 : 通常勤務
(入社以来大阪勤務、転勤なし)

経歴

2001年04月	入社
2004年11月	結婚
2006年03月	技術士取得
2007年12月	第1子出産
2009年04月	育児休暇から復帰
2010年10月	第2子出産
2013年04月	育児休暇から復帰

技術士取得のタイミングについて、2度の産休・育休取得を行う中で、計画はあったのでしょうか？

子供を授かる前に、技術士を取得しておきたいという思いは強かったです。そのため、入社してから技術士取得までは、自分に精一杯投資してきました。初の管理技術者としての業務が途中で工期延伸となり、産休に重なってしまったため他の方へと引き継がなければならないという事態も起こってしまいましたが、部署内の方たちの協力により、引継ぎを問題なく行い産休に入れました。



子育てと仕事を両立させるために必要なことを教えてください。

家族の中で、うまく役割分担できていることがポイントと感じています。夫が早く帰っているときには晩ご飯の用意をしてくれていますし、泊りの出張があっても、問題ないです。

また、通勤時間が約30分のところに暮らしているため、朝は小学生の娘・息子が登校するのと一緒に出勤することもあります。



最後に、後輩へのメッセージをお願いします

仕事と育児の両立について、不安なこともあるとは思いますが意外とどうにかなるものです。一人だけでは乗り越えられないことも多々あるため、周囲の人に助けってもらわないといけない場面は絶対に訪れます。そのためにも、日頃から周囲の方とのコミュニケーションは大切にしてくださいね！

ある1日のスケジュール

6時30分	7時00分	7時50分	8時10分	8時40分	9時00分	18時00分	18時30分	19時30分	21時30分	22時00分	23時00分	24時00分	
起床	朝食の用意 家族を起こす	子供の朝食 夫出発 子供の登校	出発	早めの出勤	勤務開始 効率化を図る！	退社 翌日の仕事の確認	帰宅	夕食(夫帰宅) 夕食の用意	夕食片付け	娘・息子就寝 宿題チェック	入浴・洗濯	洗濯物を干す	就寝